



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドウェイズ
コード番号 2489 URL <http://www.adways.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡村 陽久

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員(管理担当) (氏名) 田中 庸一

TEL 03-5339-7122

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,164	4.3	162	△32.1	171	△28.4	94	△13.2
23年3月期第1四半期	3,990	49.7	239	52.9	239	54.8	108	△23.2

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 95百万円 (△12.1%) 23年3月期第1四半期 108百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	1,252.10	1,228.43
23年3月期第1四半期	1,358.63	1,332.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	6,023	3,621	60.1	48,178.34
23年3月期	6,280	3,526	56.1	46,910.67

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 3,621百万円 23年3月期 3,526百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

平成24年3月期の連結業績予想については、平成23年3月11日に発生いたしました東日本大震災の当社および取引先への影響を精査し、確定次第速やかに発表する予定です。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	79,860 株	23年3月期	79,855 株
24年3月期1Q	4,689 株	23年3月期	4,689 株
24年3月期1Q	79,859 株	23年3月期1Q	79,855 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成24年3月期の連結業績予想については、平成23年3月11日に発生いたしました東日本大震災の当社および取引先への影響を精査し、確定次第速やかに発表する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年6月30日)における我が国の経済は、東日本大震災の甚大な被害に加え、関東地方を中心とした電力不足の影響などから先行きが不透明な状況で推移しました。

当社グループが事業展開を行うインターネット・モバイル関連業界は、ソーシャルメディア市場の拡大やスマートフォン、タブレット端末をはじめとするインターネット利用端末の多様化などを受け、今後も順調な拡大が予測されております。また、矢野経済研究所によると当社の主力事業であるアフィリエイト広告市場規模は2011年度に1,052億5,000万円(前年比4.3%増)に上るものと予測されております。

こうした経営環境の下、当社グループはアフィリエイト広告事業及びその周辺事業に投資を行い、シェアの拡大及び収益力の向上に注力するとともに、急成長が見込まれるスマートフォンアプリ市場において、ゲームアプリ『カイブツクロニクル』のユーザー獲得やスマートフォンアプリ向け広告『AppDriver』のネットワーク拡大にも取り組んでまいりました。

海外においては、中国においてアフィリエイト広告事業及びその周辺事業の拡大に向けた事業展開を実施するとともに、ベトナムにおいてスマートフォンアプリの開発に向けた開発センターを設立し、フィリピンにおいては中国に続く海外営業拠点を開設いたしました。

また、東日本大震災に見舞われた被災者の方々の救援と被災地の復興に少しでもお役立ていただくため19,576千円の義援金を日本赤十字社を通じて寄付いたしました。

以上の結果、当社グループの売上高は前年同期より173,505千円増加し、4,164,192千円(前年同期比4.3%増)となりました。

売上総利益は、前年同期より51,824千円増加し、744,016千円(前年同期比7.5%増)となりました。

営業利益は、営業体制の強化や海外向け人材の採用等により経費が増加したため、前年同期より76,824千円減少し、162,425千円(前年同期比32.1%減)、経常利益は、前年同期より67,881千円減少し、171,521千円(前年同期比28.4%減)となりました。

四半期純利益は、前年同期より14,373千円減少し、94,120千円(前年同期比13.2%減)となりました。

①インターネット広告事業

	平成23年3月期 第1四半期	平成24年3月期 第1四半期	増減	前年同期比(%)
売上高(千円)	999,455	885,337	△114,117	△11.4
(外部売上高)(千円)	998,041	870,896	△127,145	△12.7
(セグメント間売上高)(千円)	1,414	14,441	13,027	921.3
セグメント利益(千円)	133,378	91,922	△41,455	△31.1
広告主(クライアント)数	1,159	1,300	141	12.2
提携Webサイト(メディア)数	196,589	204,841	8,252	4.2

インターネット広告事業は、インターネット上で事業展開を行う企業に対し、インターネット(PC)を介したアフィリエイト広告「JANet」を中心に、費用対効果の高い広告を提供しております。

当第1四半期連結累計期間におけるインターネット広告事業は、引き続き新規広告主の獲得や優良媒体との提携及び関係強化に注力してまいりました。しかしながら、東日本大震災を背景とした広告主の出稿自粛が影響した事などにより、前年同期比で売上高、セグメント利益が減少いたしました。

この結果、インターネット広告事業の売上高は870,896千円(前年同期比12.7%減)、セグメント利益は91,922千円(前年同期比31.1%減)となりました。一方で、「JANet」の広告主(クライアント)数、提携Webサイト(メディア)数はともに増加いたしました。

②モバイル広告事業

	平成23年3月期 第1四半期	平成24年3月期 第1四半期	増減	前年同期比(%)
売上高(千円)	2,629,472	3,028,531	399,059	15.2
(外部売上高)(千円)	2,609,575	2,766,158	156,583	6.0
(セグメント間売上高)(千円)	19,896	262,373	242,476	※-
セグメント利益(千円)	272,276	258,362	△13,914	△5.1
広告主(クライアント)数	2,633	2,834	201	7.6
提携Webサイト(メディア)数	102,722	126,414	23,692	23.1

モバイル広告事業は、携帯電話で事業展開を行う企業に対し、携帯電話を介したアフィリエイト広告「Smart-C」を中心に、スマートフォンアプリ向け広告「AppDriver」など、モバイル広告を総合的に提供しております。

当第1四半期連結累計期間におけるモバイル広告事業は、前連結会計年度末に事業譲受を行ったモバイルアフィリエイト広告サービス「VERSION-M」の損益が含まれたことや、市場の成長が著しいスマートフォン向け広告の取り扱いが増加したことなどにより、前年同期比で売上高が増加いたしました。しかしながらスマートフォン広告市場向け人材の採用を積極的に行ったことなどによりセグメント利益が減少いたしました。

この結果、モバイル広告事業の売上高は2,766,158千円(前年同期比6.0%増)、セグメント利益は258,362千円(前年同期比5.1%減)となりました。また、「Smart-C」の広告主(クライアント)数、提携Webサイト(メディア)数はともに増加いたしました。

※セグメント間売上高の対前期増減率は、増加率が1,000%以上のため表記しておりません。

③コンテンツプロバイダ事業

	平成23年3月期 第1四半期	平成24年3月期 第1四半期	増減	前年同期比(%)
売上高(千円)	221,049	228,441	7,392	3.3
(外部売上高)(千円)	220,628	227,537	6,909	3.1
(セグメント間売上高)(千円)	421	904	482	114.5
セグメント利益(千円)	43,200	26,420	△16,780	△38.8

コンテンツプロバイダ事業は、連結子会社であるアドウェイズ・エンタテインメントにおいて、インターネット・モバイルのコンテンツサービスの企画・開発・運営等を行っております。

当第1四半期連結累計期間におけるコンテンツプロバイダ事業は、アーティストサイト、韓流サイトを中心に、新規サイトを立ち上げるなど積極的にユーザーの獲得を進めたことにより前年同期比で売上高が増加いたしました。しかしながら、既存の携帯電話向けコンテンツからスマートフォン向けアプリへの移行を見込んだアプリ開発等の費用が増加したためセグメント利益が減少いたしました。

この結果、コンテンツプロバイダ事業の売上高は227,537千円(前年同期比3.1%増)、セグメント利益は26,420千円(前年同期比38.8%減)となりました。

④海外事業

	平成23年3月期 第1四半期	平成24年3月期 第1四半期	増減	前年同期比(%)
売上高(千円)	134,660	299,636	164,976	122.5
(外部売上高)(千円)	134,660	291,799	157,138	116.7
(セグメント間売上高)(千円)	-	7,837	7,837	-
セグメント利益又は損失(△) (千円)	△5,942	29,009	34,952	-

海外事業は、主に中国において、インターネット上で事業展開を行う企業に対し、アフィリエイト広告「CHANet」を中心に、総合的なインターネット広告を提供しております。

当第1四半期連結累計期間における海外事業は、中国に進出する日系企業、外資企業、及び現地企業への営業を強化したことにより、アフィリエイト広告「CHANet」を軸として純広告やサイト制作等の取引高が増加したため、前年同期比で売上高、利益が増加いたしました。

この結果、海外事業の売上高は291,799千円(前年同期比116.7%増)、セグメント利益は29,009千円(前年同期は5,942千円の損失)となりました。

⑤その他

	平成23年3月期 第1四半期	平成24年3月期 第1四半期	増減	前年同期比(%)
売上高(千円)	50,596	30,220	△20,376	△40.3
(外部売上高)(千円)	27,781	7,800	△19,980	△71.9
(セグメント間売上高)(千円)	22,814	22,419	△395	△1.7
セグメント損失(△)(千円)	△3,279	△46,762	△43,483	※-

その他は、日本及び海外における新規事業等により構成されております。

当第1四半期連結累計期間におけるその他は、新規事業関連の経費が増加したため、売上高は7,800千円(前年同期比71.9%減)、セグメント損失は46,762千円(前年同期より43,483千円の増加)となりました。

※セグメント損失の対前期増減率は、増加率が1,000%以上のため表記しておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

資産においては、流動資産が前連結会計年度末より289,607千円減少し5,028,550千円となりました。主な減少要因は現金及び預金が365,946千円減少したことによるものであります。主な増加要因は、売掛金が47,101千円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末より32,623千円増加し994,687千円となりました。主な増加要因は、その他に含まれる出資金が57,835千円増加したことによるものであります。

負債においては、流動負債は前連結会計年度末より352,951千円減少し2,361,797千円となりました。主な減少要因は未払法人税等が207,940千円減少したこと及びその他に含まれる未払金が199,150千円減少したことによるものであります。固定負債は前連結会計年度末より440千円増加し39,826千円となりました。主な増加要因は、その他に含まれる長期未払金が388千円増加したことによるものであります。

純資産においては、前連結会計年度末より95,526千円増加し3,621,614千円となりました。主な増加要因は、四半期純利益94,120千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期連結および個別の通期(平成23年4月1日～平成24年3月31日)業績予想につきましては、去る平成23年3月11日の「東日本大震災」の発生により、当社グループのアフィリエイト広告事業は著しい変化を受けるとも予想されるため、業務への影響範囲、当社取引先における業務状況については取引案件への影響範囲等、当社業績に対し直接的または間接的に影響を及ぼす可能性のある外性的要因等を精査の上、確定し次第速やかに発表させていただく予定です。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,843,477	2,477,531
売掛金	2,302,521	2,349,622
たな卸資産	4,055	3,861
繰延税金資産	28,830	13,812
その他	170,259	216,540
貸倒引当金	△30,986	△32,817
流動資産合計	5,318,157	5,028,550
固定資産		
有形固定資産	90,874	97,041
無形固定資産		
のれん	239,534	222,729
その他	103,442	94,551
無形固定資産合計	342,977	317,281
投資その他の資産		
繰延税金資産	120,398	113,844
その他	415,140	470,520
貸倒引当金	△7,327	△4,000
投資その他の資産合計	528,211	580,364
固定資産合計	962,063	994,687
資産合計	6,280,221	6,023,237
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,908,323	1,918,997
未払法人税等	240,591	32,650
ポイント引当金	6,154	5,802
その他	559,678	404,346
流動負債合計	2,714,748	2,361,797
固定負債		
その他	39,385	39,826
固定負債合計	39,385	39,826
負債合計	2,754,134	2,401,623
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,477,633	1,477,708
資本剰余金	1,467,633	1,467,708
利益剰余金	996,489	1,090,609
自己株式	△399,974	△399,974
株主資本合計	3,541,781	3,636,051
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△15,693	△14,437
その他の包括利益累計額合計	△15,693	△14,437
純資産合計	3,526,087	3,621,614
負債純資産合計	6,280,221	6,023,237

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	3,990,687	4,164,192
売上原価	3,298,495	3,420,176
売上総利益	692,191	744,016
販売費及び一般管理費	452,941	581,590
営業利益	239,250	162,425
営業外収益		
外国税還付金	—	8,892
その他	882	1,684
営業外収益合計	882	10,577
営業外費用		
為替差損	678	1,226
その他	51	254
営業外費用合計	730	1,481
経常利益	239,402	171,521
特別利益		
貸倒引当金戻入額	629	—
償却債権取立益	3	—
特別利益合計	632	—
特別損失		
固定資産売却損	130	—
固定資産除却損	—	72
投資有価証券売却損	—	9,773
投資有価証券評価損	—	643
本社移転費用	26,413	—
減損損失	5,513	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	18,547	—
特別損失合計	50,604	10,488
税金等調整前四半期純利益	189,430	161,032
法人税、住民税及び事業税	84,257	45,344
法人税等調整額	△3,320	21,567
法人税等合計	80,936	66,911
少数株主損益調整前四半期純利益	108,493	94,120
四半期純利益	108,493	94,120

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	108,493	94,120
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	51	1,256
その他の包括利益合計	51	1,256
四半期包括利益	108,544	95,376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	108,544	95,376

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インター ネット 広告事業	モバイル 広告事業	コンテンツ プロバイダ 事業	海外事業	計				
売上高									
外部顧客に対する売上高	998,041	2,609,575	220,628	134,660	3,962,905	27,781	3,990,687	—	3,990,687
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,414	19,896	421	—	21,732	22,814	44,547	△44,547	—
計	999,455	2,629,472	221,049	134,660	3,984,637	50,596	4,035,234	△44,547	3,990,687
セグメント利益又は損失(△)	133,378	272,276	43,200	△5,942	442,913	△3,279	439,634	△200,383	239,250

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△200,383千円はセグメント間取引消去△44,547千円、のれんの償却額△7,332千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△148,504千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「モバイル広告事業」セグメントにおいて、運営する一部のサイトのうち、収益性の低下が見込まれるソフトウェアについて減損損失5,513千円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インター ネット 広告事業	モバイル広告 事業	コンテンツ プロバイダ 事業	海外事業	計				
売上高									
外部顧客に対する売上高	870,896	2,766,158	227,537	291,799	4,156,391	7,800	4,164,192	—	4,164,192
セグメント間の内部売上高又は振替高	14,441	262,373	904	7,837	285,556	22,419	307,975	△307,975	—
計	885,337	3,028,531	228,441	299,636	4,441,948	30,220	4,472,168	△307,975	4,164,192
セグメント利益又は損失(△)	91,922	258,362	26,420	29,009	405,714	△46,762	358,952	△196,526	162,425

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△196,526千円には、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△185,811千円を含んでおります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

資本準備金の減少

当社は、平成23年6月24日開催の第11期定時株主総会において資本準備金の額の減少について承認され、平成23年7月31日より効力が発生いたしております。

1. 資本準備金の額の減少の目的

今後の経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能にするため、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金の減少を行ったものであります。

2. 資本準備金の額の減少の要領

平成23年7月31日付けで資本準備金967,708千円のうち500,000千円を減少し、その他資本剰余金に振り替えております。

3. 今後の見通し

本件は「純資産の部」の勘定振替となりますので、当社の純資産額に変動はなく、また、本件が当社の業績に与える影響はありません。